

大分市の 水は どうなっているの？



川や海のように

工場の排水規制の強化、生活排水対策としての下水道や浄化槽の普及により、きれいな水になっています。



(写真：大分川 [滝尾橋])

大分市の大きな浄水場、下水処理場はどこ？

わたしたちが使う水はどこからきて、どこへ流れているでしょう？

浄水場	
番号	施設名
①	古国府浄水場
②	えのくま浄水場
③	横尾浄水場

下水処理場	
番号	施設名
④	弁天水資源再生センター
⑤	宮崎水資源再生センター
⑥	原川水資源再生センター
⑦	大在水資源再生センター
⑧	松岡水資源再生センター

飲み水をつくる

浄水場は、大分川や大野川の水を使って水道水をつくります。

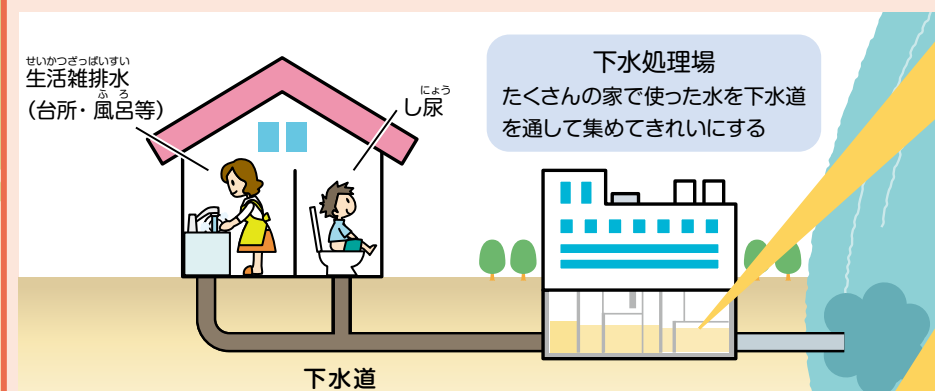


(写真：① 古国府浄水場)

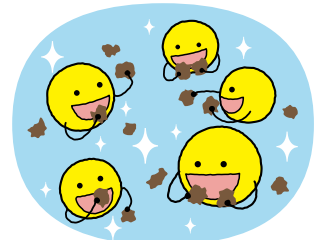
汚れた水をきれいにする

下水処理場や浄化槽は、汚れた水を微生物の力できれいにして川に流します。

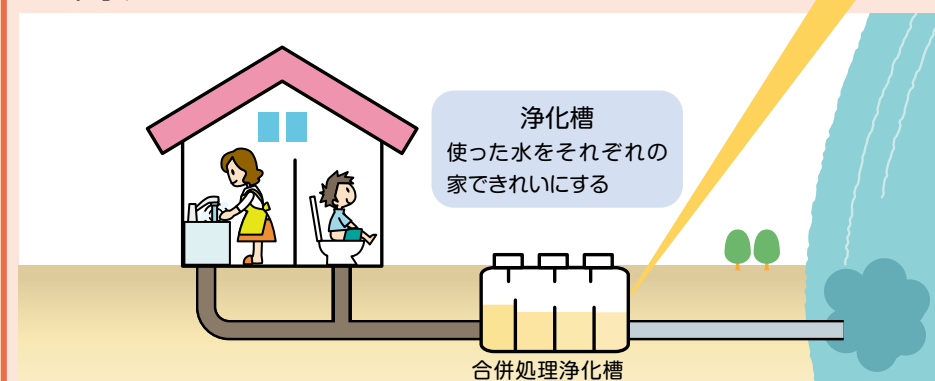
○下水道のあるところ



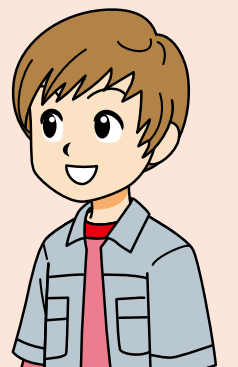
よこれを食べて水をきれいにします！



○下水道のないところ

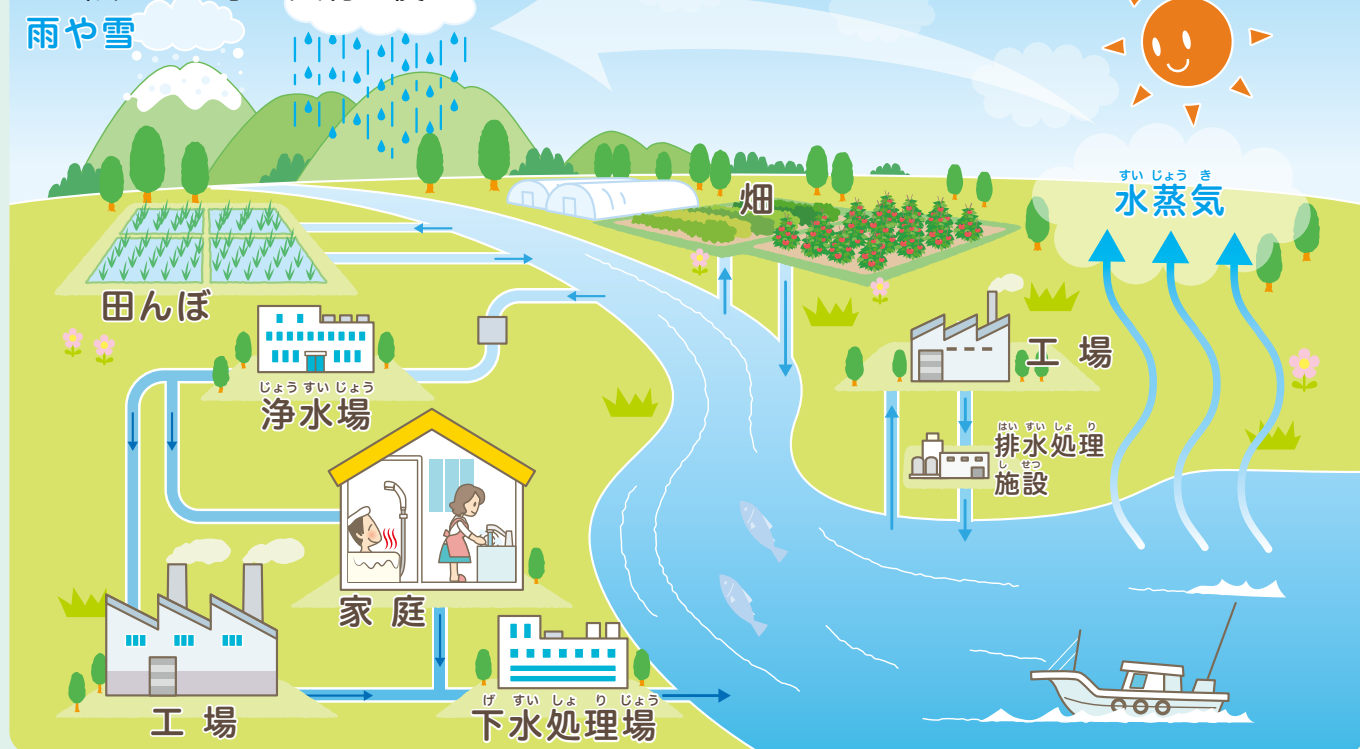


下水道や合併処理浄化槽の整備が重要だね！



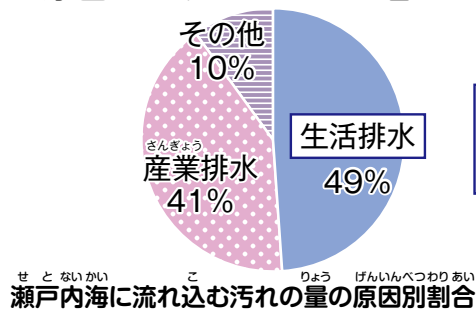
水の循環じゅん かん

水は自然の中で循環しています。そしてわたしたちの暮らしを支えています。限りある水を大切に使いましょう。

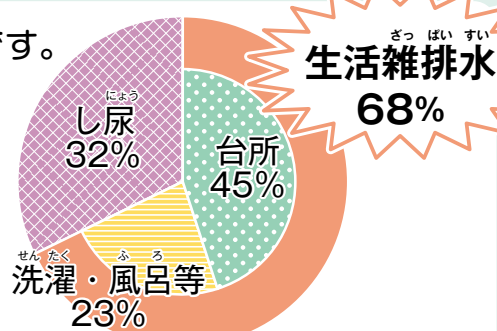


川や海の水はなぜ汚れるの？

主な原因は、わたしたちの暮らしから出る生活排水です。



生活排水
の内訳



「浄化槽による地域の水環境改善の取組み」(環境省)
(https://www.env.go.jp/recycle/jokaso/publicity/pamph/pdf/wi_all.pdf)を加工して作成

コラム

考えてみよう! 海洋プラスチックごみの問題

ペットボトルやレジ袋など日常生活の中で私たちが使っているプラスチック。これらがきちんと処理されずに捨てられることにより、その多くは私たちの住む町の河川や水路から海へ流れ込み、海洋プラスチックごみとなります。そして海の波や紫外線などの影響を受け、非常に小さなプラスチック粒子(マイ

さないために

暮らしの汚れはどれくらい？

魚がすすめる水にするのに必要な水の量は？

食品をそのまま流した場合、魚がすすめる水質（BOD 5 mg/L）にするのに、どのくらいの水が必要かを見てみましょう。例えば、みそ汁1杯を流すと、浴槽（300L）4.7杯の水が必要になります。

牛乳
200ml



浴槽（300L）×10杯

マヨネーズ
10ml



浴槽（300L）×8杯

みそ汁
200ml



浴槽（300L）×4.7杯

米のとぎ汁
2,000ml



浴槽（300L）×4.2杯

しょうゆ
15ml



浴槽（300L）×1.5杯

てんぷら油
500ml



浴槽（300L）×330杯

おでんの汁
500ml

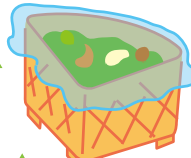


浴槽（300L）×25杯

出典：環境省「浄化槽による地域の水環境改善の取り組み」

わたしたちが今日からできること

台所では



調理くずは、水切り袋と三角コーナーを使って取りのぞこう。

洗濯では



料理に必要な分だけ作って、残さすたべよう。

お風呂では



洗濯はできるだけまとめて行い、適量の洗剤で洗おう。

お風呂の排水口に目の細かいネットを張って髪の毛などを取りのぞこう。

シャンプーやリンスは使いすぎないようにしよう。

米のとぎ汁は、よい肥料になるので植木や庭にまこう。



食器を洗う前に、油汚れなどはいらぬ紙や布でふきとろう。



その他



川や水路にごみを捨てないようにしよう。

クロプラスチック）となり、それらを海洋生物や海鳥が体内に取り込んでしまうなど、世界中の海洋環境や生態系への影響が心配されます。

マイボトル、マイバッグを持ち、使い捨てプラスチックの使用をへらしたり、きちんと分別して捨てたりするなど、プラスチックごみをへらす取り組みを考えてみよう。

